

ことば・からだ・学び・くらし。 4つのプログラムで、「できた」を育てる。

ぐりーんの支援プログラムのご紹介 | 総合版



株式会社ぐりーんは、奈良県内4拠点（天理市・奈良市・橿原市・田原本町）で**児童発達支援・放課後等デイサービス**を運営しています。発達の順番に沿って組み立てられた「**プログラム教材**」をもとに、ことば・運動・学習・生活の4つの支援プログラムで、未就学から高校生までのお子さまの成長を段階的に支えます。

ぐりーんの4つの支援プログラム



01 ことば・コミュニケーション

話す・聞く・気持ちを伝える・友だちとのやりとり

P.3



02 運動あそび

姿勢・バランス・手先・運筆と制作

P.4



03 学習・宿題支援

ひらがなの読み書き・かずの基礎・宿題

P.5



04 生活自立・はたらく準備

時計・お金・身だしなみ・予定管理・マナー

P.6

教材にもとづく支援だから、安心して続けられます

担当のスタッフが、個別支援計画や専門的支援計画に基づき、プログラム教材を使って支援しています。

品質にばらつきが少ない

教材の手順にそって進めるので、担当者による差が出にくい

段階的にレベルアップ

「今できること」を確かめ、次のステップへ段階的に

ご家庭とも共有しやすい

ねらいが明確なので、取り組みを具体的にお伝えできる

こんなお悩み、ありませんか？

見学時によくいただくご相談と、対応するプログラムの一覧です。気になるところからご覧ください。

よくあるお悩み	ぐりーんでは	くわしくは
「ことばがなかなか出ない」「単語は言えるけど会話にならない」	写真や絵のカードで「伝わった！」経験を重ね、発語の段階に合わせて7つのステップで進めます。	01 P.3
「気持ちを伝えられず、かんしゃくや手が出てしまう」	気持ちのことばカードや「きもちのおんどけい」で、気持ちに気づき言葉で伝える練習をします。	01 P.3
「友だちとうまく遊べない」「順番やルールが守れない」	少人数のゲームやワークで、順番・交代・勝ち負けの受けとめ方を体験しながら練習します。	01 P.3
「よく転ぶ」「スキップやなわとびが苦手」	できるようになりたい動きを分解し、その「土台」となる力を運動あそびで育てます。	02 P.4
「えんぴつやはさみが使いにくい」「食べこぼしが多い」	「さわる→にぎる→つまむ」の段階に沿った手先あそびと、なぐりがきから始める運筆で練習します。	02 P.4
「ひらがなが読めない字がある」「数えても全部でいくつか答えられない」	文字・数字の「形」と「音」、実際の数量を結びつけるところから、段階的に進めます。	03 P.5
「宿題に取りかかれない」「途中で集中が切れてしまう」	量と順番を一緒に決め、見通しを持って取り組める環境を整えます。	03 P.5
「時計が読めず切り替えが難しい」「お金の計算に自信がない」	カレンダー・時計は7つのステップ、お金は名前→合計→両替の順に練習します。	04 P.6
「忘れ物が多い」「外でのマナーや危ない場面が心配」	持ち物チェックや予定づくり、「この後どうなる？」を予想する練習で身を守る力を育てます。	04 P.6

4つのプログラムと「5領域」の対応

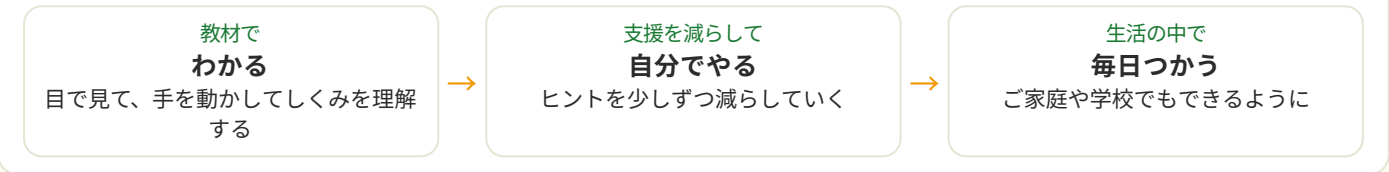
ぐりーんの支援は、こども家庭庁のガイドラインで示された5領域をふまえて組み立てています。4つのプログラムを組み合わせることで、5領域すべてをカバーしています。

5領域	01 ことば・コミュニケーション	02 運動あそび	03 学習・宿題支援	04 生活自立・はたらく準備
健康・生活				●
運動・感覚		●		
認知・行動			●	○
言語・コミュニケーション	●		○	
人間関係・社会性	●			○

● 中心となる領域 ○ あわせて育つ領域

「わかる」から「毎日つかえる」まで

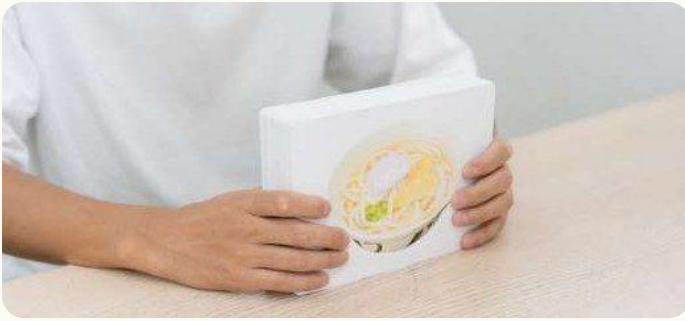
できるようになっても、使わなければ定着しません。教材でしくみを理解したら、手助けを少しずつ減らし、実際の生活の中で使えるところまでつなげます。



01 ことば・コミュニケーション

発語・気持ち・友だちとのかかわり

「ことば」「気持ち」「友だちとのかかわり」を、目で見てわかる教材と少人数のあそびの中で育てます。



身近な食べ物や物の写真カードで、名前を言う練習



少人数でのカードゲーム。順番や勝ち負けも練習です

ことばを育てる支援（発語・話す） | 7つのステップ

- 1 **見つめる・手を伸ばす** ことばの前の「伝える」から
- 2 **目を合わせる・指さし** 「人に向けて」伝える方法を増やす
- 3 **声や音で伝える** 「ぼー（ボール）」など単語に近い音へ
- 4 **ことばでお願いする** 「ちょうだい」から「ボールちょうだい」へ
- 5 **ものの名前・動き** 選ぶ（わかる）から言う（話す）へ
- 6 **二語文で話す** 「あおいしかく」「なおがはしってる」
- 7 **質問に答える** 「このつみき何色？」など、やりとりを続ける

気持ちを知る・伝える支援

気持ちのことばカード

「うれしい」「くやしい」など、気持ちのことばを表情のイラストと結びつけます。

きもちのおんどけい

気持ちの強さを1～5で表し、落ち着く方法を一緒に考えます。

こえのおおきさ

場面に合った声の大きさを、絵を使って目で見て確認します。

困ったときのカード

「わかりません」「待って」など、ことばが出にくいときも指さして伝えられます。

友だちとのかかわり（少人数グループ）

聞き取りゲーム	言われた順番どおりにカードを並べる・動く ねらい：最後まで聞く・覚えて動く
カードゲーム	神経衰弱などを少人数で ねらい：順番を待つ・交代する・勝ち負けを受けとめる
こんなとき、どうする？	場面のイラストやSSTワークシートで相手の気持ちや言い方を考える ねらい：相手の気持ちを想像する
買い物ワーク	「これください」と伝える、お金を払うなど ねらい：生活の場面でことばを使う



スタッフが大切にしていること

- ・言い直しをさせず、正しい言い方をさりげなく返します（「ぶーぶ！」→「そうだね、赤い車だね」）
- ・答えを急がず、お子さまが話し出すのを待ちます
- ・「順番を待たね」「どうぞって言えたね」と、できたことを具体的にほめます

いれて

かして

どうぞ

ありがとう

ごめんね

まってね

やめて

02 運動あそび からだ全体・手先・運筆と制作

えんぴつを上手に持つためにも、まずは体を支える姿勢や肩・腕の安定が大切です。「からだ全体」→「手先」→「道具を使う」の順に、あそびながら土台を育てます。



ボルダリング。手足の置き場所を考えながら登ります



ミニハードル。跳ぶ前に動きの順番を一緒に確かめます



絵合わせカード。指先でつまんでめくる動きも練習に

からだ全体を育てる運動あそび（粗大運動） | 7つのステップ

① 姿勢バランス

体をまっすぐ保つ。すべての動きの土台

② 身体図式

体の大きさや手足の位置を感じとる

③ 手と頭の協調

服を着る・スプーンを口に運ぶ

④ 手と足の協調

ズボンをはく・四つばいで進む

⑤ 運動コントロール

力の入れ具合や速さ・大きさの調整

⑥ 運動企画と両側統合

動きの順番を組み立て、左右を協力させる

⑦ リズム

一定のリズムで動く。スキップやなわとびに

苦手な動きがあるときは

どのステップでつまづいているかを確認、そこから始めます

できるようになりたい動きを、分解して練習

ケンケン・スキップ	片足で体を支える・左右の足をリズムよく交互に動かす	片足立ち、動物のまねっこ歩き、ジャンピンググジャック
自転車	こぎながら姿勢を保つ・前を見ながらハンドルを操作する	線の上を歩く、ステッパー、ブランコ
跳び箱	両手で体重を支える・助走から踏み切りまでの順番を組み立てる	手押し車、うさぎ跳び、ミニハードル
なわとび	両足そろえてリズムよく跳ぶ・腕を回すタイミングと合わせる	両足ジャンプ、袋ジャンプ

手先を育てる運動あそび（微細運動）

さわる

触覚識別
粘土・感触あそび

手で支える

手押し車
四つばい歩き

にぎる

ひっぱりっこ
ぶら下がり

つまむ

洗濯ばさみ
コイン入れ

三指でにぎる

ビー玉入れ
ペグさし

三指でにぎれるようになったら、運筆やはさみへ。「食べこぼしが多い」お子さまには、ストローで吹くあそびなど口まわりの運動も取り入れます。

運筆・制作（道具を使う）

運筆の導入

点・線・ぐるぐるの
なぐりがき

線の運筆

太さや長さを調整し
はみ出さずに

図形の運筆

十字・丸・三角・ひし形
文字の準備に

制作は、ちぎる・まるめる・折る・のりで貼る・はさみで切る・複数の手順で作る、と段階的に。お月見やクリスマスなど季節の制作で「できた！」を形に残します。

安全に配慮した環境で マットや道具の配置を工夫し、足の置き場所に目印をつけるなど、「少しがんばればできる」難しさから安心してチャレンジできる場をつくれます。

03 学習・宿題支援

読み書き・計算・宿題

ひらがなも数字も、まず目で見た「形」と声に出す「音」を結びつけるところから。そこに実際のものや数量という「意味」が繋がると、読む・書く・計算するへと進めます。

ひらがなの読み書き | 4つのステップ

- ① **50音の読み** カードカルタで文字の形と音を一致させ、単語づくりへ
- ② **50音の書き** なぞり書き→うつし書き→ものの名前→聴写と、見本を少しずつ減らす
- ③ **濁音・半濁音** 「か」と「が」、「は」と「ば」の違いを聞き分けて読み書き
- ④ **特殊音節** 拗音（きゃべつ）・促音（らっこ）・長音（しーそー）を、読み→カードで単語づくり→書きの順に

「話せるのに書けない」には理由があります。特殊音節はそれまでのルールと読み方・書き方がちがうため、「読み」がすすんでから「書き」に進みます。

かずの基礎 | 5つのステップ

- 2
数字

=

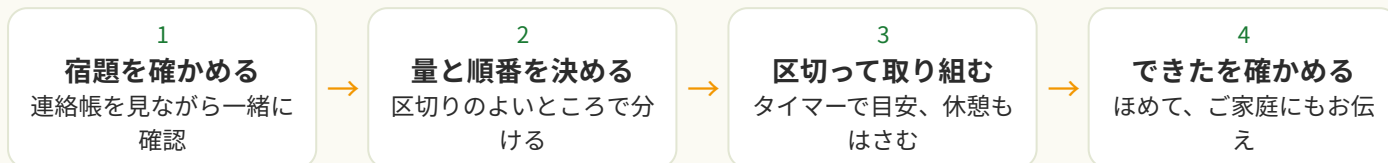
に
読み方

=


実際の数
- ① **かずを数えよう** 指さして「全部でいくつ?」、「3個とって」
 - ② **数字の読み書き（1～10）** 数字カルタ、「かぞえて数字を書く」プリント
 - ③ **数量の多少・数字の大小** 「どちらが多い?」から数字の大小へ
 - ④ **なんばんめ** 「右から2番目は?」と順番を数える
 - ⑤ **5までの合成・分解** 「5は2と3」。たし算・ひき算の土台に

宿題に、自分で取り組む力を育てる（放課後等デイサービス）

音読やひらがな・漢字の練習、計算プリントなど学校の宿題にも一緒に取り組みます。答えを教えるのではなく、「何を・どれだけ・どの順番で」やるかを自分で決めて取り組めるよう、見通しと環境を整えます。



まわりが気になるときは個別スペースで。机の上には今使うものだけを置き、刺激の少ない席を選びます。



未就学のお子さま用の机といすもそろえています。宿題の量が負担なときは保護者さまとご相談します。

04 生活自立・はたらく準備

時間・お金・自己管理

時計、お金、身だしなみ、持ち物の管理。生活の中の小さなスキルは、学校生活やその先の「はたらく」を支える土台です。一つずつ段階的に練習します。

カレンダー・時計を読む | 7つのステップ

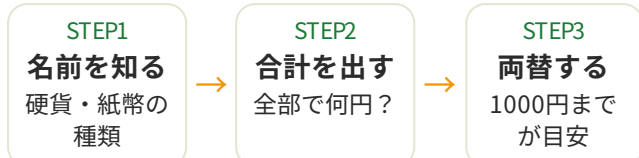
- 1 カレンダーを作る
- 2 時制を答える（あさって・あと何日？）
- 3 60までの数字
- 4 デジタル時計を読む
- 5 短針を読む
- 6 長針を読む
- 7 「〇時〇分」を読む

針の読み取りでつまずいたら、目盛りと数字が見やすい「数直線」で練習してから時計に戻ります。



教材を見せながら、一緒に確かめていきます

お金の名前・数える・両替



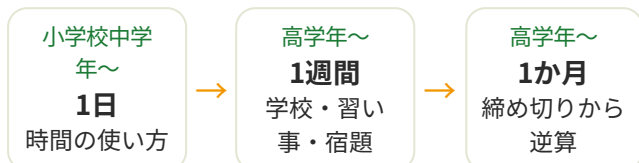
カードゲームのように楽しめる教材とプリントを組み合わせ、「手持ちのお金で買える・買えない」を判断できることがゴールです。

身だしなみ・健康管理

服装を選ぶ 活動・季節・気温に合わせた服選び。高学年からはTPOも
清潔を保つ ハンカチ・ティッシュを使う習慣
生活リズム 就寝・起床の時間を自分で考えて整える
体調を伝える 「どこが・どう痛いか」を大人に伝える

片付け・持ち物・時間の管理

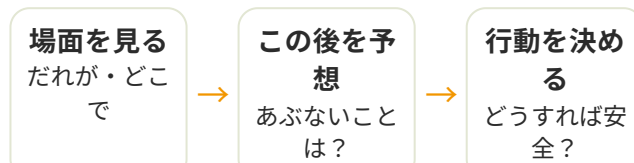
置き場所の工夫、チェック表での持ち物管理から、予定づくりへ。



高学年～中高生は、ワークブックで「目的→目標→計画→習慣→ふりかえり」の順に、自分で自分を動かす練習をします。

社会のマナー・身を守る／情報を集める

電車に乗るときなど身近な場面のルールとマナー、年少さんから取り組める身を守るルールを確認します。



高学年～中高生は、必要な情報にたどりつき、正しいか確かめる力もワークブックで練習します。



支援の進め方

教材は「なんとなく」使うのではなく、お子さま一人ひとりの目標に合わせて選びます。保護者さまと相談しながら、4つのステップで進めます。

① ようすを知る

見学・面談や日々の観察で、得意・苦手・好きなことを把握

② ねらいを決める

個別支援計画の中で「まずはここから」を保護者さまと一緒に決定

③ 教材で練習

ねらいに合う教材やあそびを、小さなステップに分けて

④ ふりかえり・共有

できたことをご家庭に伝え、生活の中で使えるように

年齢に合わせたプログラム例

	未就学のお子さま 児童発達支援	小学生 放課後等デイサービス	中学生・高校生 放課後等デイサービス
01 ことば・コミュニケーション	「ちょうだい」「どうぞ」のやりとり、気持ちのことばを知る	会話のルール、グループゲームで協力やゆずり合いを体験	場面に合わせた言葉づかい、困ったときの相談のしかた、ストレスへの対処
02 運動あそび	全身を使うあそびで姿勢とボディイメージ、なぐりがきで「書くって楽しい」	スキップ・なわとび・跳び箱を分解して練習、三指でにぎる練習や運筆	体力づくり・姿勢の維持、着替えや調理に必要な手先の動き
03 学習・宿題支援	カードカルタでひらがなの形と音、「3個とって」など数に親しむあそび	濁音・特殊音節の読み書き、数の大小・合成分解、宿題に見通しを持って取り組む	課題やテスト勉強の計画、自分に合った学び方を知る
04 生活自立・はたらく準備	カレンダー・時計の読み方、活動に合った服選び、体調を伝える	お金の合計・両替、気温に合わせた衣類の調整、遊びの危険を予測する	1週間・1か月の予定、目標を立てて取り組む、身だしなみとTPO、「好き」「得意」から将来の「はたらく」を考える

※年齢はあくまで目安です。実際の内容は、お子さまのようすに合わせて個別支援計画にもとづいて決めていきます。

ご家庭でもできる関わり

「どっち？」で聞く（ことば）

「何が飲みたい？」より「お茶とジュース、どっちがいい？」。選べる形だと答えやすく、ことばも出やすくなります。

お手伝いで手先を使う（運動）

洗濯ばさみで干す、おにぎりをまるめる、レタスをちぎるなど、毎日の中に練習があります。

宿題の時間と場所を決める（学習）

「おやつのおと、リビングの机で」など、毎日同じ流れにすると取りかかりやすくなります。

時計で声をかける（生活）

「長い針が6になったら出かけようね」など、時計を使った声かけで見通しが持てます。

できた部分を、その場で具体的にほめる 全部できなくても「この字、ていねいに書けたね」「片足で3回跳べたね」と伝え、次もやってみようにつながります。

まずはお気軽に、見学・ご相談を

お子さまのようすやお悩みをお聞きしながら、教材や活動の雰囲気を実際にご覧いただけます。



ご利用について

- ・対象：未就学のお子さまから高校生まで（児童発達支援・放課後等デイサービス）
- ・ご利用には、お住まいの市町村が発行する「通所受給者証」が必要です。手続きについてもお相談ください
- ・利用者負担は原則1割で、世帯の所得に応じて月ごとの上限額が決まっています。就学前3年間の児童発達支援は、利用者負担が無償化されています（おやつ代などを除く）

奈良県内4拠点でお待ちしています

拠点	所在地・最寄駅	営業時間	主な送迎エリア
株式会社ぐりーん 天理本店	〒632-0076 天理市岩室町57番地4 前裁駅から徒歩約9分	平日 12:00～18:00 土日祝 10:00～17:00	天理市・大和郡山市・奈良市 （東部）・桜井市ほか
株式会社ぐりーん 菅原支店	〒631-0823 奈良市西大寺国見町 三丁目2番10号 尼ヶ辻駅から徒歩10分	平日 12:00～18:00 土日祝 休業	奈良市（東部を除く）・生駒 市・大和郡山市
株式会社ぐりーん 橿原支店	〒634-0008 橿原市十市町843-2 新ノ口駅から徒歩13分	平日 12:00～18:00 土日祝 10:00～17:00	橿原市・大和高田市・香芝市・ 葛城市ほか
株式会社ぐりーん 田原本支店	〒636-0247 磯城郡田原本町阪手 638-1 田原本駅から徒歩13分	平日 12:00～18:00 祝日 10:00～17:00（土日休 業）	田原本町・橿原市・桜井市・広 陵町

※送迎エリアは代表的な市町村です。それ以外の地域もお相談ください。

ご予約の際にお知らせいただくと、見学がスムーズです

お子さまの年齢・学年

気になっていること

受給者証の有無

ご希望の曜日・時間帯

見学予約・ご相談はこちら

0743-62-7557

受付：平日 10:00～17:00 / www.green-2017.com



ホームページ



ご利用案内



LINE 友だち追加で、もっと気軽につながれます

ことば・運動・学習・生活リズムなど、子どもの発達に役立つ情報をお届けします。見学やご相談のきっかけにもどうぞ。